

# 業績 / 主要な経営指標等の推移

JIMOTO HOLDINGS

## 経済環境

平成25年3月期における国内経済は、欧州債務問題の長期化や海外経済の減速などを背景に、弱い動きが続きましたが、足元では新政権による経済対策や日本銀行の金融政策への期待感から、株価の回復や円高の修正が進むなど明るい兆しも見え始めました。当社グループの営業エリアである宮城県経済は、個人消費など

一部に弱い動きがみられたものの、全体的には震災復旧工事や住宅建設の増加などを中心として東日本大震災からの回復の動きが続きました。一方、山形県経済は、雇用情勢の改善など、足元では一部下げ止まりの兆しがみられましたが、生産活動が低調に推移するなど全体的に弱含みの動きで推移しました。

## じもとホールディングス

### 業績

当社は、銀行子会社である株式会社きらやか銀行及び株式会社仙台銀行とともに「じもとグループ」として、宮城と山形の「人・情報・産業」をつなぎ、お客さまに喜ばれ、信頼され、『じもと』とともに進化・発展する新たな金融グループを目指して震災復興支援をはじめとした各種施策に取り組んでおります。

当連結会計年度の経常収益は、資金運用収益及び役員取引等収益の拡大に努めた結果、338億38百万円となりました。経常費用は、物件費を中心とした経費節減に努めた結果、318億1百万

円となりました。その結果、経常利益は20億36百万円、当期純利益は19億50百万円となりました。

なお、当社設立において、企業結合会計上の取得企業を株式会社きらやか銀行としたため、当連結会計年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の経営成績は、株式会社きらやか銀行の当連結会計年度の経営成績を基礎に、株式会社仙台銀行の平成24年10月1日から平成25年3月31日までの経営成績を連結したものととなります。

## 主要な経営指標等の推移（連結）

(単位：百万円)

決算年月	平成25年3月期
連結経常収益	33,838
連結経常利益	2,036
連結当期純利益	1,950
連結包括利益	7,533
連結純資産額	103,651
連結総資産額	2,349,214
1株当たり純資産額	236.54 円
1株当たり当期純利益金額	10.33 円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	3.92 円
自己資本比率	4.36 %
連結自己資本比率(国内基準)	10.67 %
連結自己資本利益率	1.90% %
連結株価収益率	22.94 倍
営業活動によるキャッシュ・フロー	65,971
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 80,821
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,644
現金及び現金同等物の期末残高	112,800
従業員数 (外、平均臨時従業員数)	1,736 人 (616 人)

- (注) 1. 当社及び連結子会社の消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。  
 2. 当社は、平成24年10月1日設立のため、平成24年3月期以前の経営指標等については記載しておりません。  
 3. 当社は、平成24年10月1日付で株式会社きらやか銀行（以下、「きらやか銀行」という。）と株式会社仙台銀行（以下、「仙台銀行」という。）の経営統合にともない、両行の共同持株会社として設立されました。設立に際し、きらやか銀行を取得企業として企業結合会計を行っているため、当連結会計年度（自平成24年4月1日至平成25年3月31日）の連結経営成績は、取得企業であるきらやか銀行の当連結会計年度の連結経営成績を基礎に、仙台銀行の平成24年10月1日から平成25年3月31日までの連結経営成績を連結したものととなります。  
 4. 「1株当たり純資産額」、「1株当たり当期純利益金額」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」（以下、「1株当たり情報」という。）の算定に当たっては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号）を適用しております。また、これら1株当たり情報の算定上の基礎は、34ページの「1株当たり情報」に記載しております。  
 5. 自己資本比率は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。  
 6. 連結自己資本比率は、銀行法第52条の25の規定に基づく平成18年金融庁告示第20号に定められた算式に基づき算出しております。当社は国内基準を採用しております。